**HMX**

**オロロジカル・マシーンの10周年を祝して**

MB&Fは2015年に10周年を迎える。通常は誕生日にその主役がお祝いのプレゼントを貰うのはほぼ間違いない。

しかしながらMB&Fは、その10年に渡る歴史において最も重要なアニバーサリーにちなみ、誕生日についてのこの前提を逆転させることにした。クリエイティブ・ラボはプレゼントを待つのではなく、過去10年間にわたってブランドを支えてくれた「フレンズ」への感謝の意を表し、HMX（「X」はローマ数字の10にあたる）を開発したのである。高級時計製造界においては通例となっている、非常に複雑かつ高価なアニバーサリーピースの開発ではなく、MB&Fは品質を一切妥協せずに利益をカットし、過去に類を見ない価格でオロロジカル・マシーンを提供するのだ。

同時に、MB&Fが結果に満足しすべてがしっくりくるまでに、フォーム、仕上げ、ディテールなどの多種多様なコンビネーションの検討・テスト・却下を繰り返したことにより、HMXは開発において最も難しいマシーンの一つとなった。

***クリエイティブな大人は長生きした子供だ***

MB&F10周年のスローガンは「クリエイティブな大人は長生きした子供だ」。大人になると、日々直面する多くの現実の中でいつのまにか消えてしまう、子供時代の物事を不思議に思う感覚や驚嘆の気持ちを表している。

マキシミリアン・ブッサーは子供の頃、車のデザイナーになることを夢見ており、彼のスケッチブックは想像したスーパーカーで溢れていた。車から着想を得ているHMXは、ブッサーの中で子供心が生き続けている証拠でもある。

***諸君、エンジンを掛けよ！***

HMXは双方向性ジャンピングアワーとトレーリング分表示を採用。一見シンプルに映るものの、時間の表示法と表示箇所こそがHMXの特性を凝縮している。ムーブメントの上の回転ディスクが鏡文字の数字を表示し、2つの光学プリズムのサファイアクリスタルが、前部の垂直ディスプレイに時間を拡大し投影している。透明なエンジンカバーから広がる光は、HMXのエンジン上部を照らすと同時に、時間表示のバックライトの役割も担い、明確な表示となっている。

サファイアクリスタルのエンジンカバー越しに見えるのは、スーパーカーから着想を得た、ムーブメント上のデュアル「ロッカーカバー」と、それぞれのシャイニークロム製オイルフィラーキャップである。オイルフィラーキャップはデザインの要素に留まらず実際に機能しており、緩めることで時計製造職人が表示ディスクの宝石軸受に油を差すことができる。

機械式自動巻きムーブメントがHMXの動力となっており、裏蓋を通して垣間見える22金ゴールド製ローターが「燃料」を供給している。

**HMXは4色×各20ピースの限定品。グレード5チタンとステンレススチール製で、ブラック、グリーン、レッド、ブルーで展開されている。**

**HMXの詳細**

**インスピレーションと制作：**10周年というのは誰にとっても重要な節目であるが、頑なに流行や主流に逆らいながら、時計というよりも3次元のキネティック・マシーンを手掛ける小規模のオロロジカル・クリエイティブ・ラボにとって、これはとりわけ意味のあるものである。2005年にMB&Fを創設したマキシミリアン・ブッサーは当時、一部の勇気あるコレクターが未知なる時計製造の領域に共に興味を持ってくれることを期待していたが、MB&Fが起こした“革命”がいかに大きなものとなるかについては一切予想していなかった。

*「当初からHMXのコンセプトはフレンズの皆様にお返しをすることでした。MB&Fが10周年を迎えることができるのは、コレクターとサポーターの皆様あってこそのものなのです。業界ではアニバーサリー作品といえば非常に高価なピースを開発するのが通例となっていますが、我々は逆の発想にしました。HMXはこれまでの作品の中で最も手頃な*オロロジカル・マシーンとなっており、これが*我々の皆様に対するお礼なのです。」*とマキシミリアン・ブッサーは語る。

しかしながらHMXは、MB&Fが結果に満足しすべてがしっくりくるまでに、フォーム、仕上げ、ディテールの多種多様なコンビネーションの検討・テスト・却下を繰り返したことにより、開発において最も難しいマシーンの一つとなった。

**表示：**HMXの垂直な時分表示は、ムーブメントの上で平面回転している円形ディスクが可能としている。2つのディスク（双方向性ジャンピングアワー用と分表示用）それぞれに鏡文字の数字がプリントされており、2つの三角形の光学プリズムによって投影・拡大され、時前部の垂直の前方向ディスプレイに時刻を映している。2つのプリズムの間に設けられた間隔によって、前部と上部からエンジンに光が降り注ぎ、特に上部からの照明は時間表示のバックライトの役割も果たし、表示をより明確にしている。

サファイアプリズムはV字型になっており、角度も屈折させるのではなく、水平状の表示から垂直に反射するように綿密に計算されている。前部に配置されている凸レンズが拡大作用をもたらしている。ガラスに比べ、サファイアクリスタルは光学的な精度を出すことが極めて困難であり、光を反射し角度を屈折しながらも、一切歪曲しないクリスタルの生産には非常に多くの開発と綿密な制作を要した。

垂直な前方向ディスプレイは、車のハンドルから手首を上げずとも時間の確認を可能とすることから、HMXはドライバーに最適の時計と言えよう。

**マシーン：**マキシミリアン・ブッサーは子供の頃、スーパーカーのデザイナーになることを夢見た。多くの男の子と同様、手持ちのスケッチブックやメモ帳を野性的な高速車で埋めつくした。しかし大半の男の子とは異なり大人になっても子供心を持ち続けるブッサーは、MB&Fでその要素を多いに発揮している。HMXは正に手首に巻くスーパーカーなのである！

極めて斬新な形状であるという理由から、HMXのケース部分は製造上の大きな挑戦である。すべてのライン、曲線、金属、仕上げ、色は、何度も何度も修正された。ケース付属品は、強度、色、仕上げ、そして重量までをも考慮して選択された。HMXはどの角度から眺めても美しいだけでなく、「しっくり」こなければならなかった。つまり重すぎても、軽すぎでもいけないのである。そしてHMXのケースの理想的な特徴を生かすため最終的に選ばれたのがステンレススチールとグレード5チタンである。

マキシミリアン・ブッサーは語っている。*「私は将来振り返った時に、今行っているすべてのことを誇りに思いたいのです。そしてこの気持ちは10年たった今、より一層強まっています。すべてが完璧でなければ満足できないため、一つ一つのディテールが非常に重要です。特にアニバーサリーピースとなると妥協できません」。*

HMXのデザインには、数多くのスーパーカーの影響が見受けられる。特に、アルファ・ロメオの「ディスコヴォランテ」などの自動車製造で有名なイタリアのコーチビルダー「カロッツェリア・トゥーリング」の特徴的な「スーパーレッジェーラ」方式が、マシーンの“コーチワーク”全体に感じられる。

HMXに採用されたブラック、グリーン、レッド、ブルーの4色はすべて、入念に選択されたモータースポーツ・カラーである。

**HMXの技術仕様**

**グレード5チタンとステンレススチール製の4色x各20ピースの限定品**

**エンジン：**

MB&F社内で開発されたジャンピングアワーとトレーリング分表示モジュールで構成され、Sellita（セリタ）ギアトレインで動く3次元オロロジカルエンジン。

機械式ムーブメント、自動巻き

22金ゴールド製自動巻きローター

パワーリザーブ：42時間

テンプ振動数：28,800bph/4Hz.

部品数：223

石数：29

**機能／表示：**

双方向性のジャンピングアワーとトレーリング分表示、内蔵拡大レンズ鏡付きデュアルサファイアクリスタル反射プリズムで表示。

**ケース：**

ディテールが施されたグレード5チタンとステンレススチール製、ブラック、グリーン、レッド、ブルーで展開。

サイズ：46.8 x 44.3 x 20.7 mm

部品数：44

防水性能：30m / 90’ / 3atm

**サファイアクリスタル：**

上部と前部にサファイアクリスタル。裏蓋は両面反射防止加工。

内蔵拡大レンズ鏡付きデュアルサファイアクリスタル反射プリズム。

**ストラップとバックル：**

エンジンの補色で一部穴のあいたカーフスキンストラップ、チタン製通常バックル。

 **HMXの製作に携わった「フレンズ」**

*コンセプト：*マキシミリアン・ブッサー（MB&F）

*製品デザイン：*エリック・ジルー（スルー・ザ・ルッキング・グラス）

*開発・製造管理：*セルジュ・クリクノフ（MB&F）

*研究開発：* ギヨーム・テヴナン、ルベン・マルティネス（MB&F）

*ムーブメントベース：* アンドレアス・ドゥブゼ（セリタウォッチCo SA）

*社内機械追加モジュール：*アラン・ルマルシャン（MB&F）

*ケース：*ファビアン・シャパット、リカルド・ペスカンテ（レ・アルティザン・ボワティエSA）

*スチール製ムーブメント部品：*アラン・ペレ（エレフィル）

*ホイール：*ドミニク・ギュイエ（DMPオルロジュリーSA）

*小部品のプロファイルターニング：*セバスチャン・パロズ（スイスメックSA）

*クロム製機能性オイルキャップ：*イヴ・バンディ（バンディSA）

*ムーブメント部品手仕上げ：*ジャック＝アドリアン・ロシャ、デニス・ガルシア（C-Lロシャ）＆　オーロラ・アマラル・モレイラ（パノヴァ）

*ムーブメント組み立て：*ディディエ・デュマ、ジョルジュ・ヴェジー、アンヌ・ギテ、エマニュエル・メートル（MB&F）

*アフターサービス：*フロリアン・クゥルバ（MB&F）

*品質管理：*シリル・ファレ（MB&F）

*サファイアガラス：*マルティン・シュテットラー（シュテットラー・サファイアAG）

*時分ディスク：*ジャン＝ミシェル・ペラトン、ジェラール・ゲルヌ（ブロッシュSA）

*リュウズ：*ジャン＝ピエール・カサール（シュヴァル・フレールSA）

*自動巻きローター：*ドゥニ・ヴィラール（サンドル+メト ガレタンSA）

*バックルの設計および製造：*ドミニク・メニエ、ベルトラン・ジュネ（G&Fシャトラン）

*ストラップ：*トリスタン・ギヨジャナン（クレアション・ペラン）

*化粧箱：*オリヴィエ・ベルトン（ATSアトリエリュックス）

*製造物流：*ダヴィド・ラミー、イザベル・オルテガ（MB&F）

*マーケティング・広報：*シャリス・ヤディギャログル、ヴィルジニー・メイラン、ジュリエット・ドゥル（MB&F）

*M.A.D. Gallery：*エルヴェ・エスティエンヌ（MB&F）

*セールス：*ルイ・アンドレ、パトリシア・デュヴィラール、フィリップ・オグル（MB&F）

*グラフィックデザイン：*ダミアン・セドゥ（MB&F）、アドリアン・シュルツ、ジル・ボンダラス（Z+Z）

*製品写真：*マーテン・ファン・デル・エンデ

*人物写真：*レジス・ゴレ（フェデラル）

*ウェブサイト：*ステファン・バレ、ヴィクトル・ロドリゲス（スモー・インタラクティブ）

*テキスト：*イアン・スケラーン（Underthedial）

*映像：*マルク＝アンドレ・デシュー（MADinSwitzerland）

**MB&F – コンセプトラボの誕生**

***10年、10個のキャリバー、数多の達成、無限の創造性***

2015年、MB&Fは10周年を迎える。史上初のオロジカルコンセプトラボが経験した豊かな10年。MB&Fを一躍有名にした、かの有名なオロロジカル・マシーンとレガシー・マシーンを構成する10個のキャリバーが象徴する、極限の創造性の10年だ。

15年間高級時計ブランドのマネージメントに徹したマキシミリアン・ブッサーは、2005年にハリー・ウィンストンのマネージングディレクターを辞任し、MB&F（マキシミリアン・ブッサー＆フレンズ）を設立。MB&Fは、ブッサー氏が尊敬し、コラボレーションを共に楽しむ、才能あるオロロジカル職人を集めて先鋭的なコンセプトの腕時計デザインと小規模の製作を行う、アートとマイクロエンジニアリングのラボである。

2007年、MB&Fは初のオロロジカル・マシーンHM1を発表。HM1の彫刻のような3次元ケースと美を追求して仕上げられたエンジンは、奇抜とも言えるその後の同社オロロジカル・マシーンの基準となった。HM2、HM3、HM4、HM5、HM6、そして今作のHMX。すべては時刻を告げるためだけのマシーンではなく、自らが時を知るマシーンなのである。

2011年にはMB&Fはラウンドケースのレガシー・マシーン・コレクションを世に送り出した。MB&Fの視点から言えばよりクラシカルなこのラインアップは、現代的な芸術作品に仕上げる上で、過去の偉大なオロロジカル革新者が生み出した複雑エンジンを新たに解釈し直し、19世紀の優れた時計製造技術を讃えている。LM1とLM2に続いて発表されたLM101は、完全自社開発したムーブメントを搭載している初のMB&Fマシーンとなった。

それ以降MB&Fは、現代的かつ非常に斬新なオロロジカル・マシーンと、時計製造の歴史をインスピレーションの源とするレガシー・マシーンを交互に発表している。

この10年で、MB&Fの軌跡の目印となる受賞機会もあった。すべてを網羅することはできないが、2012年の「ジュネーブ時計グランプリ」では、レガシー・マシーンNo.1が「パブリック賞（オロロジーファンによる投票）」と「最優秀メンズウォッチ賞（プロの審査員による投票）」を受賞。2010年の同グランプリでは、HM4サンダーボルトで、「最優秀コンセプト＆デザインウォッチ賞」を受賞。そして2015年には、HM6スペースパイレートが、国際的な「レッドドット・デザイン賞」において最高位の「レッドドット：ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞した。